むさしむらやま男女共同参画情報誌

Vol. 56
2022.2

YOU★I（ゆう・あい）

ワーク・ライフ・バランス

私の場合。

ゆうあい人 内野あずささん／ワーク・ライフ・バランス推進事業所
ゆーあいワード／講座・パネル展開催報告／令和4年度の計画／本紹介
一人で悩んでいませんか

ご自身のこと、家族のこと、友人関係、職場関係などで一人で悩んでいませんか。

例えば…

- 夫の暴力に悩んでいる
- 仕事が長続きしない
- 気持ちが落ち着かず毎日起きるのが辛い
- 離婚したいけど どうしていいか分からない
- 相談する人が周りにいない

専門の相談員がお話をうかがいます。お気軽にお問い合わせください。

女性弁護士による法律相談

- 毎月 第3水曜日 午後5時～7時
- 毎月 第3土曜日 午後2時～4時
- 一人につき 25分

こころの保健室（一般相談）

- 毎月 第2土曜日 午後2時～4時
- 一人につき 40分

※状況により電話相談のみになる場合があります

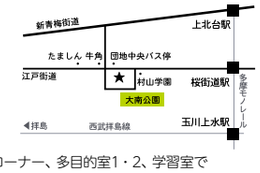
来所相談・電話相談どちらもお受けしますが、コロナ感染対策により変動することもありますので事前にお電話にてご確認ください。ご希望があればご相談中の保育も可能です。

お電話でお気軽にお問い合わせ下さい。

☎042-590-0755

男女共同参画センターゆーあい（武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター）は

性別や年齢などの属性に関わらず、誰もがその人らしく活躍できる多様性のある社会づくりを目指す武蔵村山市の施設です。男女共同参画社会、ダイバーシティの推進に関する情報及び学習機会の提供、また資料、図書などの展示・貸出し、各種自主事業、性別や世代に関わらず多様な人々のつながりのきっかけづくりを行います。



WEBで最新情報

HP https://fureai.csplace.com

face book https://www.facebook.com/furesen/

LINE

フリーWi-Fi

男女共同参画センターの図書コーナー、多目的室1・2、学習室でフリーWi-Fiがご利用いただけます。なお、快適なWi-Fi環境を保つため一度に使用できる台数を5台に限らせていただきます。受付にてパスワードをお伝えいたしますのでお声掛けください。

C'S PLACE　株式会社東建社

男女共同参画センターゆーあい（武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター）は、2019年4月1日より指定管理者として株式会社シーズプレイスと株式会社東建社グループが武蔵村山市より指定を受け、管理運営しています。

むさしむらやま男女共同参画情報誌『YOU★I』Vol.56 2022年2月発行

編集・発行：武蔵村山市男女共同参画センター「ゆーあい」（武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター）　デザイン：株式会社シーズプレイス

〒208-0012 東京都武蔵村山市緑が丘1460番地1111号棟1F　☎ 042-590-0755　Mail：fureai@csplace.com　HP：https://fureai.csplace.com/

武蔵村山市で活躍している個人・団体を紹介

ゆうあい人

petite（プティー）店主
内野（うちの） あずさ さん

昨年12月、武蔵村山市学園に輸入古着と雑貨のお店をオープンした内野あずささん。育児真っ最中の時期に起業という道を選んだエピソードを中心に伺いました。

プロフィール／1985年茨城県出身、武蔵村山市在住。2021年12月、学園三丁目にアメリカ直輸入のカジュアルな古着と癖のあるデザインの文房具や雑貨、ハンドメイドの小物を扱う店「petite」をオープン。自身もハンドメイド作家で個性があふれる作品が人気。

―起業のきっかけは何でしたか？

結婚して子どもが生まれた時、私は〝子育てが天職〟と思えるほど楽しかったんです。でも働かなくてはならない状況だったので、子ども達2人を0歳から預け、独身時代からのアパレルの仕事を続けていました。子ども達とずっと一緒にいたいのに、働くことでその間の子ども達の成長を見逃しているような気がして、それがなんだか悔しくて。その気持ちがきっかけになって、〝子ども達が「ただいま」と帰ってこられるような場所にお店を開く〟という夢ができました。

―起業までのストーリーを教えてください。

〝自分のお店〟という夢ができた後も、そこから10年間は仕事を続けていました。その間はハンドメイド作家としても活動していて、作品の販売が軌道に乗り始めると自信が出て、お店をやりたい気持ちも強くなりました。でもまだ妄想の段階で、「やっぱり資金を貯めてから」とか、古着屋という夢もあったので「ある程度在庫を集めてから」、などと考えている状況でした。また、同じ頃にはテナントを探し始め、カフェやパン屋さんなどの一角を間借りさせてもらえないかと交渉したりもしました。でもコロナ感染拡大の不安もあり断られてしまい、どうしようと思っている時に今のお店を借りられることになりました。この場所は元は生地屋さんで、我が家と子ども達の通う学校との途中にあり、よく知っていました。ずっと空き家だったのですが、ある日、この親族の方が片付けているのを偶然見かけたんです。「あそこでお店ができたら理想的だな」と思いましたが、テナントを募集していた訳でもなく、でも今その方に話し掛けないと連絡先も知らず、いつ会えるかわからない。家族に「どうしよう」と話したら、夫や同居している義母が背中を押してくれ、義母と一緒にお願いしに行きました。親族の方は、「売る予定も壊す予定も貸す予定もないので、使ってくれたら嬉しい」と言ってくれました。お店には商品だった生地もそのまま残っていて、片付けを手伝ったりしながら開店準備をしました。

―実際に起業してみて感じた事はありますか？

今は仕事が毎日とても楽しくて、「これこれ！」という気持ちが強いです。好きなものに囲まれたお店を開く夢も叶って、子ども達がお店に帰ってきて、一緒にいられる時間が増えて、理想的な形で働けてすごく幸せです。子ども達もとても喜んでいて、何もお願いしていないのに学校や保育園で宣伝してくれて、お店を知ってくれる人がどんどん増えています。

リメイク第一弾のワンピースを着て。

―夢が叶った今、お店をどう展開していきたいですか？

この場所が生地屋として長く愛されていたので、生地屋を再開したのかと入ってくる方が毎日のようにいます。それ程に愛されていた場所を使わせてもらっているので、今はのんびり長く続けて、前のお店と同じくらい愛されるお店になっていきたいというのが一番の目標です。

―今後の夢は？

店舗は構えましたが、出張販売もいっぱいしたいし、イベントにも出てたくさんの方にお店を知ってもらいたいです。お店の他にやっているネット販売もしっかりとやっていきたい。嬉しいことに、ハンドメイド品はネットの注文が殺到していて現在お店には並べられない状況です。また古着もこのお店を開いてから信用度が高まったようで、売り上げが伸び始めています。

今後は、古着のリメイクを勉強して製作販売もしていきたいです。今はトレンドの洋服が安く買えてしまう時代ですが破棄も多くて、アパレル業界では大量破棄が問題になっています。それをちょっとでも減らしていきたい。私の行動一つで大きな解決にはならないかもしれないけれども、自分に出来ることを楽しみながらやっていきたいです。その第一弾が、今日着ているこのワンピース。私にとって初めてのリメイク作品で、スカートとトレーナーを縫い合わせたもの。実はウエストのギャザーが寄り過ぎなんですが（笑）、これからもっと上手になって、地球にやさしいオリジナルのリメイク商品を展開していきたいです。

お店の商品はどれも思い入れのある品ばかり。
気軽に覗いてみてほしいと内野さん。

取材を終えて

「住居兼店舗」の造りになっているpetite。奥には掘りごたつのあるお座敷があり、初めてお邪魔した私でも「ただいま」と言いたくなるような場所でした。出産を経てできた夢を実現した内野さんのお話を聞き、人それぞれの心地良い働き方を、また一つ知ることができました。

緑が丘ふれあいセンター
副センター長　南葉子

INFORMATION

petite（プティー）

営業時間・休み　共にInstagramで確認
〒208-0011 武蔵村山市学園3-31-1
Instagram「usedclothing___petite」のDM
または azunko0131@gmail.com

特集 市内の7事業所を認定 ワーク・ライフ・バランス推進事業所

武蔵村山市が令和3年度「ワーク・ライフ・バランス推進事業所」に認定した市内の事業所をご紹介。仕事と生活を両立しながら働ける職場の実現に向け、優れた取り組みを実施している7事業所です。

①むらやま幼稚園

●代表者：吉野 吉男
●事業内容：幼稚園経営
●従業員：24人(男性5・女性19)

主な取組み

① 全職員対象のハラスメント研修の実施
② 職員の生活様式に応じて、勤務時間の調整や短時間勤務が可能
③ 希望により姉妹園である幼稚園、保育園への転勤・出向が可能

②社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院

●代表者：鹿取 正道(院長)
●事業内容：病院等事業運営
●従業員：696人(男性212・女性484)

主な取組み

① 多様なライフスタイルに対応できる休暇制度や勤務形態の整備
② 育児・介護休業制度の整備
③ 心の相談室設置、ハラスメント規則、委員会の整備設置

③株式会社 GoKuRaKu-Pro

●代表者：河本 未希
●事業内容：リラクゼーション・エステ業
●従業員：8人(男性2・女性6)

主な取組み

① 職場の生活様式に応じて、勤務時間の調整や短時間勤務が可能
② 育児・介護休暇について積極的な取得を推進
③ 働きやすい環境づくりの創出

④多摩信用金庫 村山支店

●代表者：井上 昇一(支店長)
●事業内容：信用金庫法に基づく金融業務全般
●従業員：22人(男性11・女性11)

主な取組み

① 連続休暇の取得について規程を整備
② 職場の生活様式に応じて、勤務時間の調整や短時間勤務が可能
③ 育児休業者復帰時面談やジョブリターン制度の整備

⑤多摩信用金庫 残堀支店

●代表者：蛯名 洋紀(支店長)
●事業内容：信用金庫法に基づく金融業務全般
●従業員：22人(男性11・女性11)

主な取組み

① 連続休暇の取得について規程を整備
② 職場の生活様式に応じて、勤務時間の調整や短時間勤務が可能
③ 育児休業者復帰時面談やジョブリターン制度の整備

⑥西武信用金庫 村山支店

●代表者：比留間 健一(支店長)
●事業内容：信用金庫法に基づく金融業務全般
●従業員：17人(男性10・女性7)

主な取組み

① 就業場所を問わず自己啓発に取り組めるようeラーニングなどの学習環境整備
② 各種特別休暇(記念日休暇、介護休暇、メディカルケア休暇、積立保存休暇等)の充実
③ 役職員が育児、介護休暇などを取得しやすい環境の整備

⑦明治安田生命 立川支社瑞穂営業部

●代表者：篠原 正貴(営業部長)
●事業内容：生命保険・損害保険等の募集・保全サービス業務等
●従業員：46人(男性2・女性44)

主な取組み

① 各種特別休暇(キッズサポート休暇・子の看護休暇等)の充実
② 子育てしやすい環境確保を中心とした勤務時間の調整や短時間勤務が可能
③ 令和2年度の有給休暇取得率100%

緑が丘ふれあいセンターで認定事業所のPRを行っています

今回ご紹介した認定事業所名が記載されたペナントを、緑が丘ふれあいセンター内に掲示しています。ぜひ見に来てください。

なお、情報誌『YOU★I』では今後、各事業所を取材していく予定です。こちらもお楽しみに！

ゆーあいワード

男女共同参画に関わる用語を分かりやすく解説します

【ワーク・ライフ・バランス】

「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事」とそれ以外の「生活」のバランスをうまく取ることで、相乗効果でどちらもより良くしていくことです。「生活」というのは趣味や習い事、地域活動、育児や介護などです。

仕事が気になって休みの日でも仕事が頭から離れない、プライベートで悩みがあり仕事に集中できない。逆に仕事がうまくいったときはプライベートを楽しむ余裕が出たり、趣味で気持ちが充実してそれが仕事に良い影響を与えるなど、「仕事」と「生活」が影響しあっていることを実感している人もいるでしょう。

「バランスを取る」とは、片方に重きを置くことでも片方を我慢することでもありません。このバランスは人それぞれです。同年代でも、同じ職場でも、同性でも、誰かと同じである必要はありません。その時の置かれている状況や気持ちによって、「自分」にとってのベストなバランスがあるはずです。そのバランスを自分で調整しながら、自分が納得した働き方・暮らし方をしていくことがとても大事になります。

最後に、誰もが自分にとって最良なバランスを作り出すためには、お互いを尊重し合える職場や地域の環境づくりも大事な要素の一つです。

講座・パネル展 開催報告

女性活躍推進講座 ゆーあいフェスタ

2021年11月21日㈰

ふれあいセンターで毎年恒例の、起業を目指す女性のマーケットイベント「プチ起業フェスタ」。今年は「ゆーあいフェスタ」と名前を変え、初めての試みとして作家さん自身による企画・運営での開催となり、大盛況のイベントになりました。

参加者より ●運営は緊張しましたがとても楽しく勉強になりました。●これをきっかけに今後も進展していけるよう努めたいです。

ひとり親支援講座 シングルマザー応援フェスタ

2021年12月26日㈰

弁護士相談、子どもの発達相談、就職相談、養育費面会相談、スーツドライブ（衣料品のプレゼント）、ハンドトリートメントや座談会など、今年も盛りだくさんな内容での開催となりました。特に食料品や衣料品などのお土産が今年も大好評で、多くの方が笑顔で帰っていきました。

参加者より ●この先の方向性が見い出せました（法律相談）。●分からない点を丁寧に教えていただけ安心できました（養育費面会交流相談）。

パネル展示 パートナーシップ制度について考えてみる

2022年1月10日㈪祝～31日㈪

東京都で22年度内に導入すると小池百合子知事が表明した事でニュースになったパートナーシップ制度についてのパネル展示を開催しました。LGBTQ+（性的マイノリティ）やSOGI（性的指向・性自認）など性や結婚のあり方の多様性、パートナーシップ制度の導入が進まない理由や同性同士の結婚が認められない理由等にフォーカスを当て、社会や自身の中にある「常識」が「偏見や差別」につながっていることを示唆した内容になっています。多くの方が関連図書やリーフレットなども手に取って見ていました。

令和4年度の計画

詳細やお申込方法はゆーあいレターまたはふれあいセンターのHPをご覧ください。

- 4・8・12月・（令和5）3月　シングルマザーおしゃべりカフェ
- 5・9・11月・（令和5）2月　ママのためのわいわいカフェ
- 6・10月・（令和5）2月　健康講座
- 7月　パパ子講座
- 8月　男性向け講座
- 12月　シングルマザー応援フェスタ
- 毎月第2・第4土曜日　多胎児交流ひろば
- 毎月第2・第4日曜日　ひとり親交流ひろば

BOOK

今号は「ワーク・ライフ・バランス」関連の本

男女共同参画センターゆーあいでは図書コーナーを設けております。一度に一人10冊まで・2週間借りられます。

『やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。』

著　者：梅田悟司
出版社：サンマーク出版
2019年9月17日発行

家事をしていたら、いつの間にか1日が終わっていた……。それもそのはず。家事なんて無限にあるんだから。そんな名もなき家事にコピーライターの著者が、あるある！などの声が聞こえてきそうな名前を付けています。ワーク・ライフ・バランスを保つ上でも日常的にどれだけの家事があるのかを知っておくのも大切ですね。

『「男女格差後進国」の衝撃～無意識のジェンダーバイアスを克服する～』

著　者：治部れんげ
出版社：小学館新書
2020年10月1日発行

長年ジェンダー問題について取材・執筆・実践に取り組んできた著者が日本で男女格差が縮まらない理由や次世代のためにできることを提案しています。日本の男女格差は先進国で最下位。子どもたちが輝ける国にするための一助になる一冊です。

『なぜ共働きも専業もしんどいのか～主婦がいないと回らない構造～』

著　者：中野円佳
出版社：PHP新書
2019年6月15日発行

主婦の無償労働を前提とする日本の循環構造。日本の働き方の矛盾と変化の兆しを読み解いた連載に大幅加筆した書籍です。章ごとに独立しているので読みたいところから読めて、軽快。そして実用的です。女性のみならず全ての方に読んでいただきたい一冊です。

ご紹介した図書はふれあいセンターの図書コーナーにて貸出し中です！